

パラボラアンテナフォトコンテスト 講評

(講評：長野県カメラ商組合佐久支部 高橋 修悦 様)

【作品講評】

・ 大賞 (市長賞) 「JAXA に侵入」 亀田 稔恵 様

ペットが写るだけで楽しい気分になってしまいます。二人？のワンちゃんがユーモラスでこれから始まる冒犬 (陰) ストーリが想像できる楽しい作品となりました。内容的には犬の頭とアンテナが重なってしまったのが残念です。アングルを工夫することでアンテナの存在感をもっと表すことができたでしょう。

・ エストニア大使賞 「宇宙への架橋」 白田 勝彦 様

高所に出た虹と夏雲、そしてアンテナが画面に上手に治まっています。突然の虹の出現にも撮影者は落ち着いて撮影されたとのだろうと感心してしまいます。プリントの仕上げを調整することでさらに良くなった作品ですので惜しまれます。

・ JAXA 賞 「爽快」 依田 英章 様

縦位置で安定感のある構成で無駄がありません。天を仰ぐパラボラアンテナを筋雲が引き立たせました。また、アンテナの先の輝きが「はやぶさ2」との送受信を想像させ、高原の爽やかさを感じる好印象の作品に仕上がりました。

・ 佐久市子ども未来館館長賞 「成層圏の向こう」 小川 貴史 様

ロケットの飛んでいるスピード感が出ています。鱗雲？のおかげで動きが出ました。また、雲間からはしっかり星もしっかりと写っています。長秒間露光ですが露光時間の選択が適切で難しい撮影条件を技術力で仕上げています。もちろん構成構図も良くコスモタワーの配分が見事です。これから始まろうとする宇宙旅行を想像させてくれるワクワクする作品となりました。

(裏面あり)

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「最先端技術」 有井 寿美男 様**

全体を見ても美しいパラボラアンテナを部分的に切り取った作品です。狙いがはっきりして見せたいものをしっかりと構成していて作者の腕前と意図がはっきり伝わる素晴らしい作品となりました。見事な芸術作品を見ているようで造形美に溢れた建造物だと再認識させられました。

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「眺望絶佳」 奥原 静男 様**

高いところからの俯瞰撮影はスケール感が出ます。撮影日が9月となっていました。田んぼの緑と浅間山にかかった雲から夏の日を感じることができます。緑の濃い部分にアンテナを配したことで点景となり画面を引き締め、いて壮大な風景写真となりました。

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「丘の灯台」 小林 健太郎 様**

満月の夜でしょうか。シャープなピントがいいですね。また、パラボラアンテナの向きもよく、月明かりに照らされて立体感と存在感が見事です。何回も通った内の一枚と推察されます。撮影者の努力が実った堂々とした作品になりました。

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「小春空望むコスモタワー」 小林 みどり様**

季節を感じさせる紅葉を左に大きく取り入れ、トンネル構図を利用して青空の中にコスモタワーが上手く収まっています。和むような暖かさが伝わり、まさに小春日和を感じる作品となりました。

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「天空を見つめる目」 山極 寛治 様**

対角線上は魚眼レンズにより180度写っています。星の数と渦（日周運動）に感動しました。比較明合成技術で何枚もの写真を重ねたと思いますが、やはり撮影者の努力に敬服します。デジタルカメラにより色々な撮影が楽に行えるようになりましたが星景写真は技術と忍耐が必要だからです。北極星に対して画面左側にパラボラ配した構図を探してみてもいいでしょうか。

・ **長野県カメラ商組合佐久支部賞 「星夜のキャンプ」 依田 貴臣 様**

佐久高原内山牧場の夜のキャンプ場。荒船山と星空が浮かび上がっていて見事な作品です。内容を見ると好条件が揃ったように見えますが、作品にするとなるとかなり難しい条件です。作者の撮影意欲と技術力の高さに感動しました。